



ことばときこえの教室だより

No.4 令和7年7月

いっそくせいなんちょう

一側性難聴の「きこえ」について

通級では「きこえ」に関する相談も行っています

片耳の聴力が低下、もう片方は正常の状態を一側性難聴といいます



およそ、1000人に1~2人いるといわれています。片耳の聴力は正常なので、日常生活に支障ありませんが、環境によって聞こえにくいことがあります。

☆ 聞こえにくい方から話しかけられるとわからない

「無視した？」など誤解されることも

☆ にぎやかな場面では聞こえにくい

☆ どこから声や音がするのかわかりにくい

校庭や体育館での一斉指導、グループ学習、休み時間、校内放送、校外学習、登下校中 など



～学校生活での対応例～

先生が話すとき

- ・子どもたちに顔を向ける
- ・話し始めの予告をする
- ・リズムをくずさず、はっきり話す
- ・反響する場では、複数回または個別に伝える

環境づくり

- ・誰かが話すときは、静かにする
- ・視覚的な情報の活用
(板書、掲示物、指差しなど)
- ・聞き返してもよい

座席の位置

- ・聞こえる耳が教卓側
- ・先生から遠くない
- ・聞きもらしても周りの子を見て行動しやすい

<参考図書>

「聞こえ方は、いろいろ 片耳難聴 Q&A」
岡野 由実 著 学苑社



<片耳難聴を伝えるリーフレット ご紹介>
『きこいろ』

片耳難聴について／ご家族向けリーフレット／
職場での片耳難聴者への合理的配慮



「聞こえる側から」「近くで」「静かな環境」



大変お世話になりました

●市内各小学校への訪問検査

●言語・聴力に関する相談

ことばときこえの教室では、桐生市教育委員会の委託により、1学期に言語・聴力に関する検査・相談を行っています。今年も、市内の1年生を対象とした発音や吃音に関する検査・相談、対象のお子さんの聴力の検査・相談を実施しました。保護者の皆様や関係の先生方には、大変お世話になりました。

相談は随時
行っています

☆ 小・中学生・先生対象 (通級は小学生まで)

☆ 相談≠定期的に通う ☆ 先生のための相談も

例えば…



小6で吃音が気になってきた。
中学校に向けて吃音のことを知りたい。



ことばと
きこえの教室
☎
44-8114

小1の頃は困らなかった。
3年生になって、話しづらさを感じるようになった。



保護者からことばについて相談があった。学校でも気になるので紹介したい。

先生からでも 保護者からでも ご連絡ください ☺



今後の予定



特別支援学級発音相談

対象：桐生市小学校 特別支援学級児童
期日：7月22日(火)～28日(月)
内容：児童・保護者・担任と発音検査や相談をします

通級吃音学習会

対象：桐生市内幼小中学校 教職員
期日：8月19日(火) 9:30～11:20
内容：吃音理解のための学習会

1学期指導終了

7月4日(金)

吃音グループ学習週間

7月7日(月)～11日(金)

2学期指導開始

9月1日(月)

